

参加者 14名（内議員 4名）

テーマ：目標像 6 高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けられる

目標像 7 誰もが自立した生活と社会参加ができる

●以前、介護認定率の低さが国から評価されていたことがあったが、現在は相変わらず他の市町村より低いのか、また高齢者施設等が少ないが現状の施策はどうなっているのか。

○（議員）介護認定率は上昇傾向にある。主に高齢者の増加による。また特別養護老人ホーム誘致の取組はあるが実現に至っていない。勤労青少年ホームは令和 8 年度末で廃止し、その後は特別養護老人ホームの建設予定地として活用する方向で検討している。

●周辺の他市に比べて和光市の認定率がどうなのか、年代別の人口がどうなっているのか、どこを見ればわかるのか知りたい。

○（議員）和光市長寿あんしんプランは市のホームページで公開されているが、認定率の推移等それで見られる。

●見てみようと思うが、それを概略化して問題点や今後の対応等市民にわかりやすくしていただきたい。

○（議員）今年度、次の第10期計画を策定していくので、今いただいたご意見は伝えさせていただく。

●和光市には9校小学校があって、それぞれの校区で地区社協の活動がある。第五小校区では歌ったり体操したり給食も無料でできる教室をやっていて、約30人が集まり、結構皆さん楽しみにしている。ただ参加者がいつもだいたい同じ顔触れで、近所の独居高齢者等への声かけをお願いしているが、なかなか家から歩いて行ける範囲でないと参加が難しい。歩ける範囲に拠点が少ないのがネック。

●免許返納しても和光市は何もない。朝霞市はやっている。

○（議員）交通不便地域の免許返納者を対象にタクシー券の補助の実証実験を実施したところで、その結果を見て今後の施策を検討することとなっている。

●デジタルクーポン、スマホ持っていない人に紙でQRコード配るという話だったが、結局印刷代がかかる。以前は冊子でクーポン配った例もあって、市民のための経費と言いながら無駄に税金を使っているのではないか。国の交付金を使った事業の経費がどのくらいかかっているのかも市民にわかるように示してほしい。

●文化関係で、高齢者の楽しみでもある芸能関係の事業で市が直接絡んでいるものが和光市はない。朝霞市では市が主催に名を連ねて文化祭芸能のつどい等

やっているし、板橋区でも歌謡祭等がある。市として市民の楽しみになるような文化振興や、施設のメンテナンス等しっかりやってほしい。